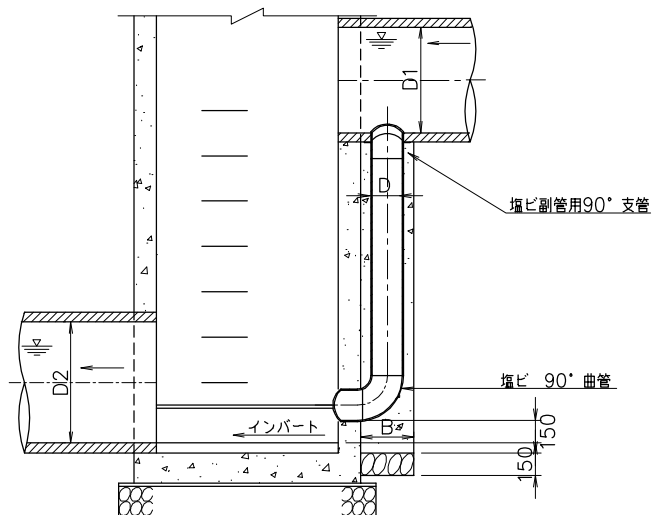


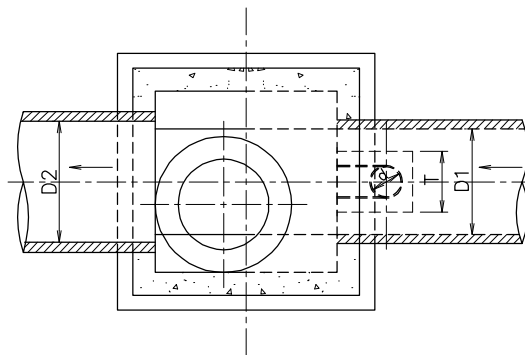
4. 各種マンホール構造図

副管付きマンホール構造標準図

断面図



平面図

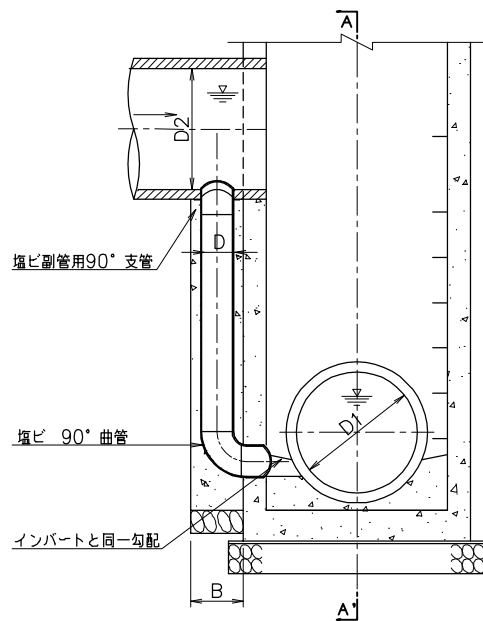


(イ) 副管径の決め方

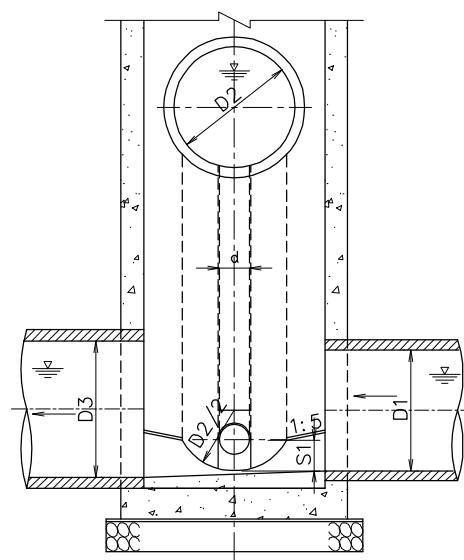
	本管の内径	副管の内径
汚水管	200mm	150mm
	250~400mm	200mm
	450~500mm	250mm
	600mm	300mm
雨水管	一律	200mm

本管の内径が1100mm以上の場合は、階段人孔等を検討すること。

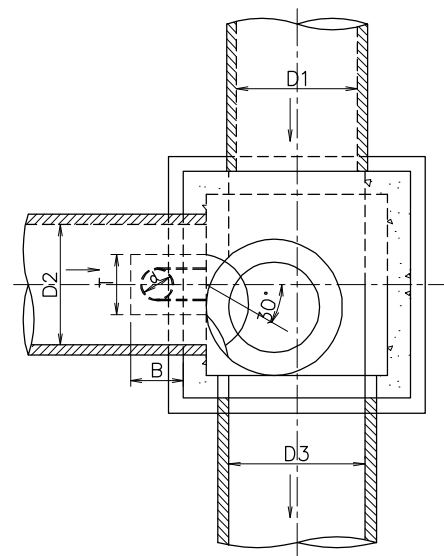
断面図



A-A' 断面図



平面図



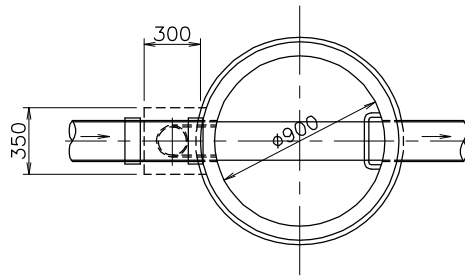
d (mm)	B (mm)	T (mm)
150	300	350
200	350	400
250	400	450
300	500	550

$S1 \geq 0.25D2$

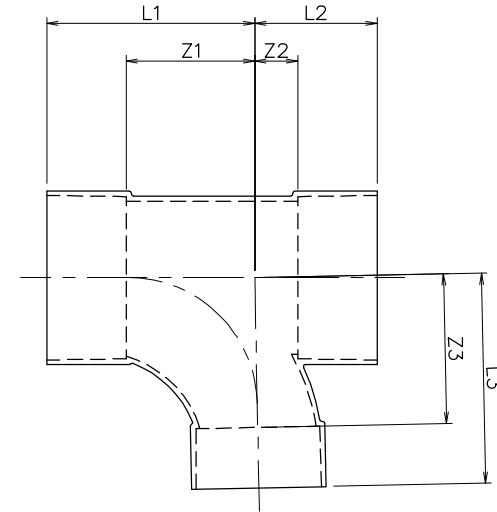
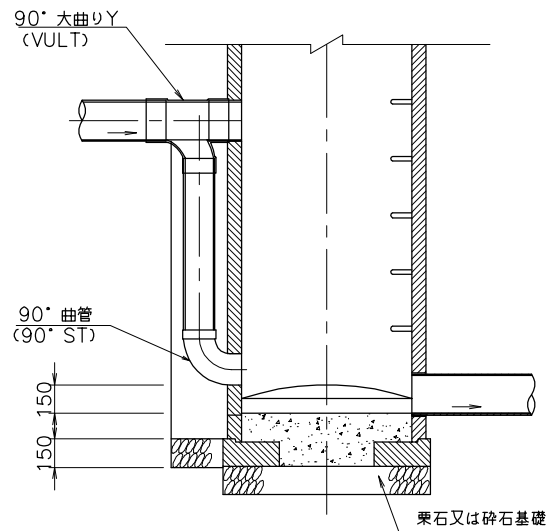
副管付きマンホール構造標準図
(本管 200 副管 150の場合)

90°大曲りY 200×150
(VULT)

平面図



断面図

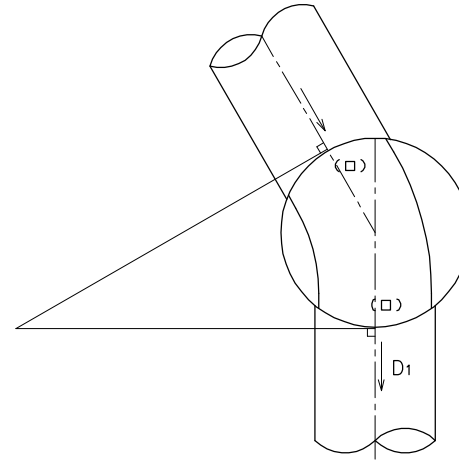
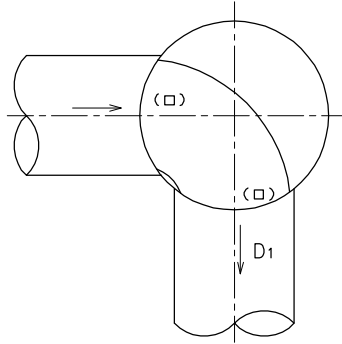
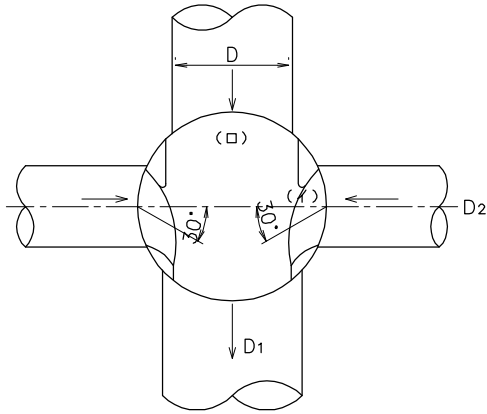


注 材料についている矢印は無視すること。

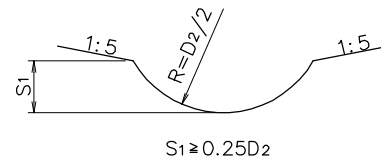
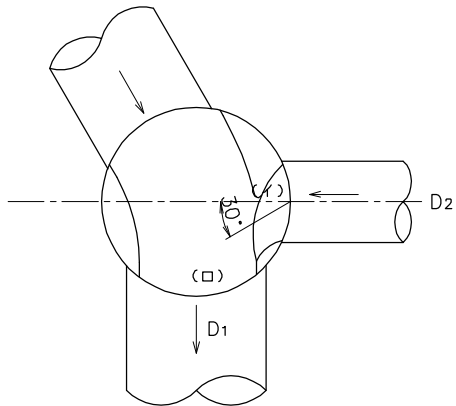
		サイズ					(単位mm)
品名	サイズ	Z1	Z2	Z3	L1	L2	L3
200×150		170	57	196	275	162	278

備考 Z1, Z2及びZ3の許容部は、呼び径100以下は±2mm
呼び径150は±3mmとする。

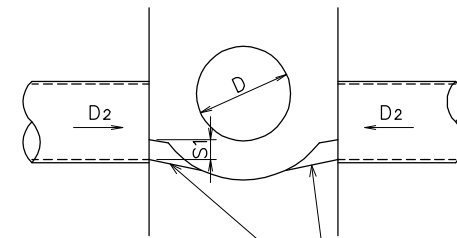
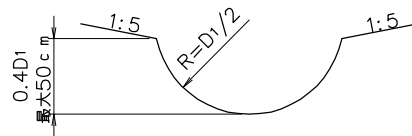
インバートの形状



流入管に於けるインバート(イ)



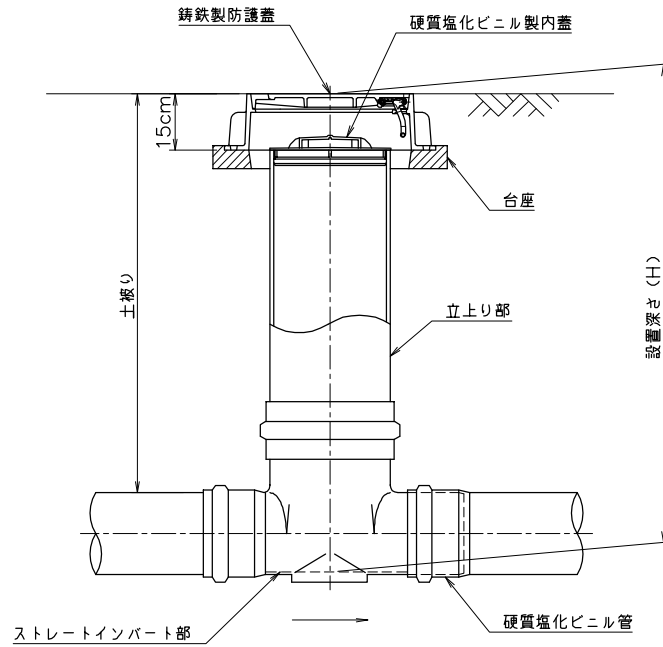
本管に於けるインバート(ロ)



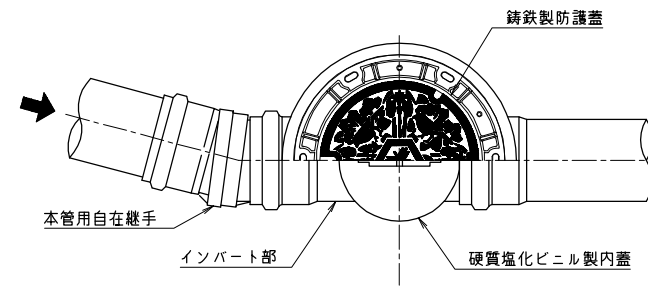
インバートの勾配に同一 (1:5)

塩ビマンホール(ストレート)参考図

断面図

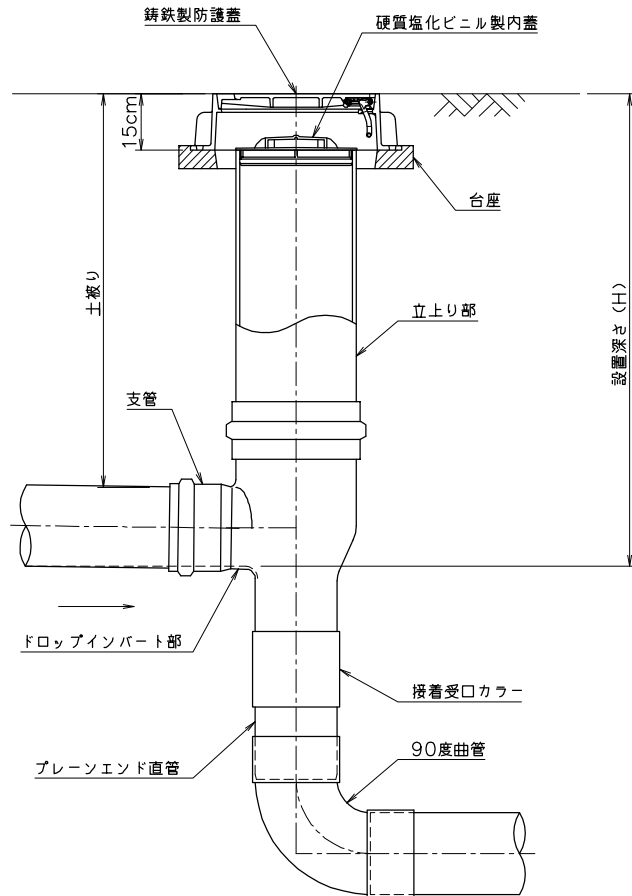


平面図

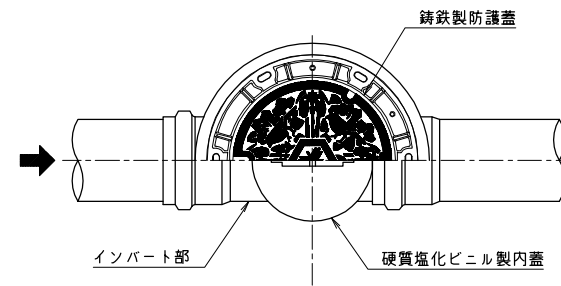


塩ビマンホール(ドロップ) 参考図

断面図

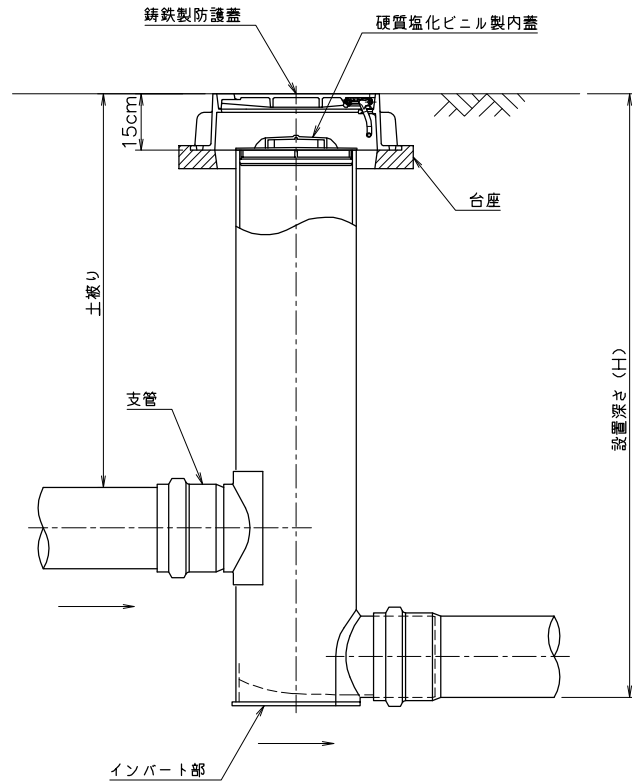


平面図

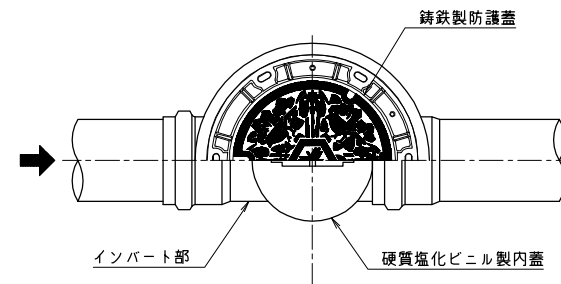


塩ビマンホール（流入位置自在）参考図

断面図



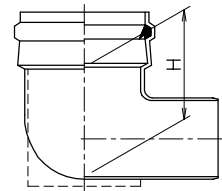
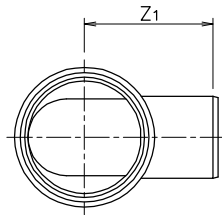
平面図



硬質塩化ビニル製小型マンホールインバート形状寸法参考図（１）

起点（略号 KT）

ゴム輪受口形



（単位：mm）

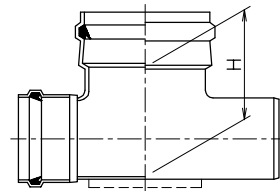
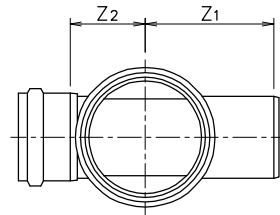
呼び径	Z1	H（最小）
管径 マホ径 （最小）	受口形	
200-300	290	255
250-300	350	310

*差し口形でも可

注 破線で示すように安定脚を設けてよい。
なお、その形状は、規定しない。

ストレート（略号 ST）

ゴム輪受口形



（単位：mm）

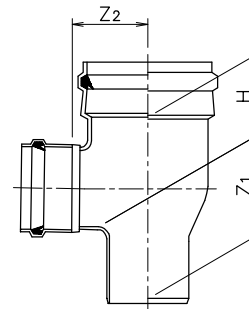
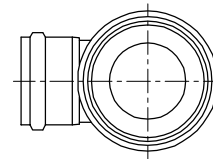
呼び径	Z1	Z2	H（最小）
管径 マホ径 （最小）	（最小）	（最小）	受口形
200-300	290	180	255
250-300	350	190	310

*差し口形でも可

注 破線で示すように安定脚を設けてよい。
なお、その形状は、規定しない。

ドロップ（略号 DR）

ゴム輪受口形



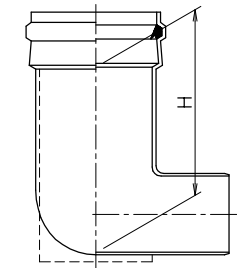
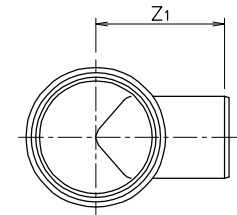
（単位：mm）

呼び径	Z1	Z2	H（最小）
管径 マホ径 （最小）	（最小）	（最小）	受口形
200-300	170	180	255
250-300	220		310

*差し口形でも可

流入位置自在（略号 KDR）

ゴム輪受口形



（単位：mm）

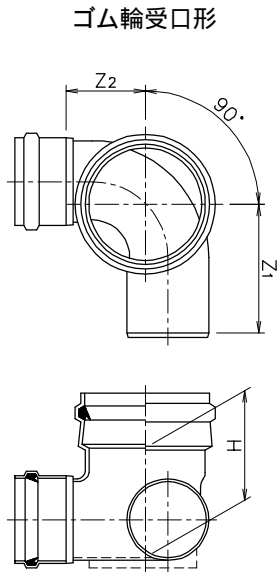
呼び径	Z1	H（最小）
管径 マホ径 （最小）	受口形	
200-300	290	1000
250-300	350	1200

*差し口形でも可

注 1.破線で示すように安定脚を設けてよい。
なお、その形状は、規定しない。
2.差し口形の先端部は、面取りをしない
形状としてもよい。

硬質塩化ビニル製小型マンホールインバート形状寸法参考図(2)

90度曲り「右・左」(略号 90L)



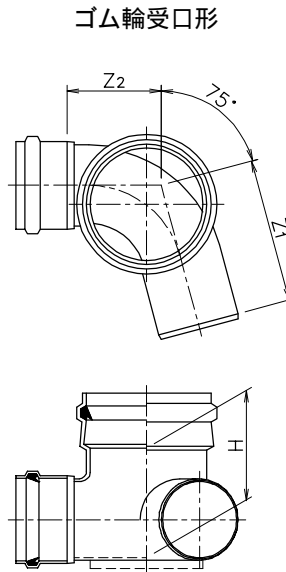
本図は、90度曲り(左)を示したものである。
(単位:mm)

呼び径	Z1	Z2	H(最小)
管径 呼び径(最小) 受口形	(最小)	(最小)	
200-300	290	200	255
250-300	360	210	310

*差し口形でも可

注 破線で示すように安定脚を設けてよい。
なお、その形状は、規定しない。

75度曲り「右・左」(略号 75L)



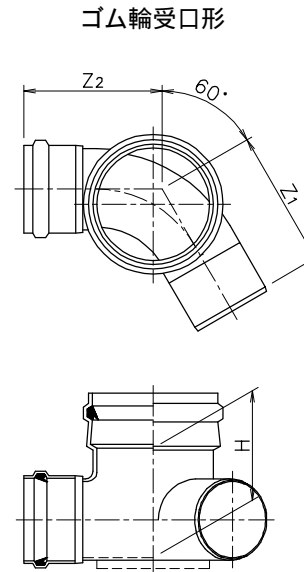
本図は、75度曲り(左)を示したものである。
(単位:mm)

呼び径	Z1	Z2	H(最小)
管径 呼び径(最小) 受口形	(最小)	(最小)	
200-300	290	200	255
250-300	360	210	310

*差し口形でも可

注 破線で示すように安定脚を設けてよい。
なお、その形状は、規定しない。

60度曲り「右・左」(略号 60L)



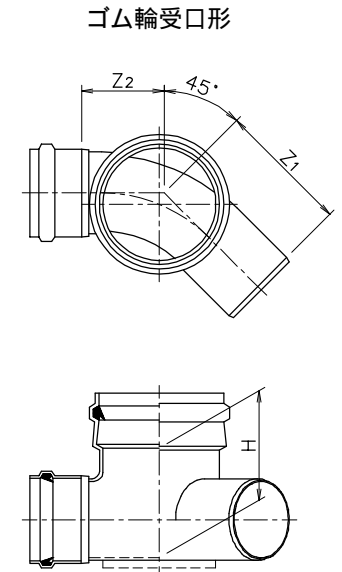
本図は、60度曲り(左)を示したものである。
(単位:mm)

呼び径	Z1	Z2	H(最小)
管径 呼び径(最小) 受口形	(最小)	(最小)	
200-300	290	200	255
250-300	360	210	310

*差し口形でも可

注 破線で示すように安定脚を設けてよい。
なお、その形状は、規定しない。

45度曲り「右・左」(略号 45L)



本図は、45度曲り(左)を示したものである。
(単位:mm)

呼び径	Z1	Z2	H(最小)
管径 呼び径(最小) 受口形	(最小)	(最小)	
200-300	290	200	255
250-300	360	210	310

*差し口形でも可

注 破線で示すように安定脚を設けてよい。
なお、その形状は、規定しない。

硬質塩化ビニル製小型マンホールインバート形状寸法参考図 (3)

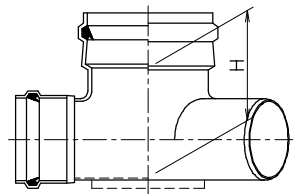
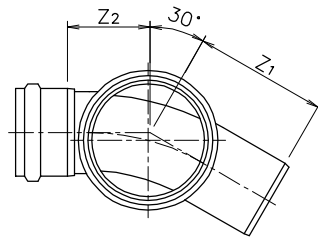
30度曲り「右・左」(略号 30L)

15度曲り「右・左」(略号 15L)

90度合流「右・左」(略号 90Y)

45度合流「右・左」(略号 45Y)

ゴム輪受口形



本図は、30度曲り(左)を示したものである。

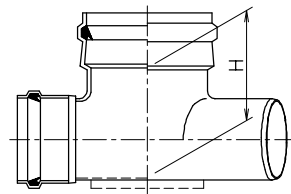
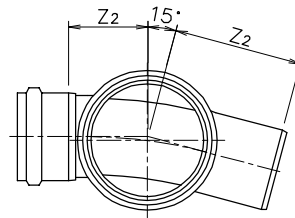
(単位:mm)

呼び径	Z1	Z2	H(最小)
管径 200-300	290	200	255
管径 250-300	360	210	310

*差し口形でも可

注 破線で示すように安定脚を設けてよい。
なお、その形状は、規定しない。

ゴム輪受口形



本図は、15度曲り(左)を示したものである。

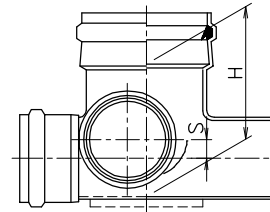
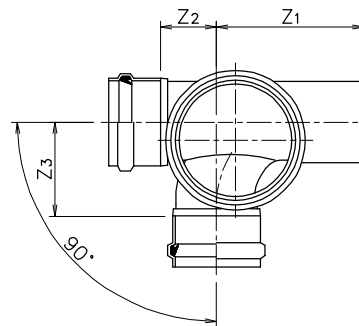
(単位:mm)

呼び径	Z1	Z2	H(最小)
管径 200-300	290	200	255
管径 250-300	360	210	310

*差し口形でも可

注 破線で示すように安定脚を設けてよい。
なお、その形状は、規定しない。

ゴム輪受口形



本図は、90度合流(左)を示したものである。

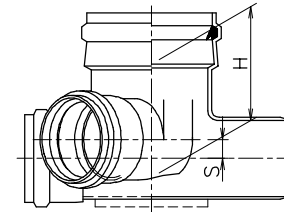
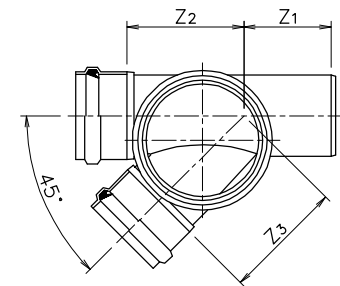
(単位:mm)

呼び径	Z1	Z2	Z3	S		H(最小)
管径 200-300	320	140	220	15	55	255

*差し口形でも可

注 破線で示すように安定脚を設けてよい。
なお、その形状は、規定しない。

ゴム輪受口形



本図は、45度合流(左)を示したものである。

(単位:mm)

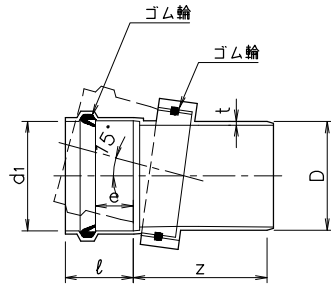
呼び径	Z1	Z2	Z3	S		H(最小)
管径 200-300	200	300	290	15	55	255

*差し口形でも可

注 破線で示すように安定脚を設けてよい。
なお、その形状は、規定しない。

硬質塩化ビニル製小型マンホール用継手形状寸法参考図

本管用自在継手（略号 PMF）

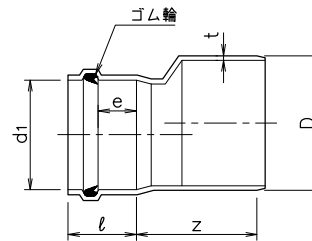


（単位：mm）

呼び径	D		d1 (最小)	e (最小)	l (最小)	z (最小)	t (最小)
	基本寸法	許容差					
200	216	±0.7	216.9	52	185	240	6.5
250	267	±0.9	268.1	57	205	300	7.8

- 注1. ゴム輪の形状及びゴム周辺部の形状は、規定しない。
 2. 差し口外径Dとは、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の外径測定値の平均値、又は円周測定値を円周率3.142で除した値をいう。
 3. 受口内径d1は、直角2方向以上の内径測定値の平均値とする。

本管用異径継手（略号 IHR）

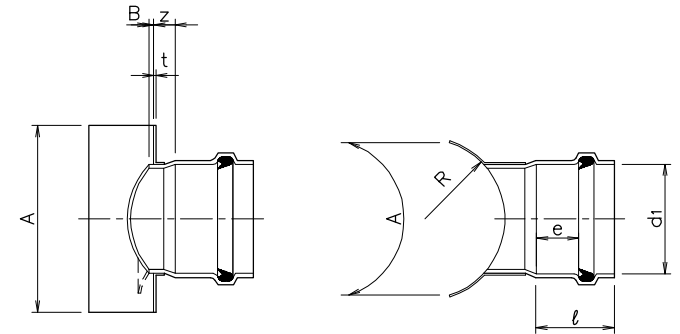


（単位：mm）

呼び径	D		d1 (最小)	e (最小)	l (最小)	z (最小)	t (最小)
	基本寸法	許容差					
250×200	267	±0.9	216.9	52	185	230	7.8

- 注1. ゴム輪の形状及びゴム周辺部の形状は、規定しない。
 2. 差し口外径Dとは、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の外径測定値の平均値、又は円周測定値を円周率3.142で除した値をいう。
 3. 受口内径d1は、直角2方向以上の内径測定値の平均値とする。

くら型マンホール継手（略号 KDRS）



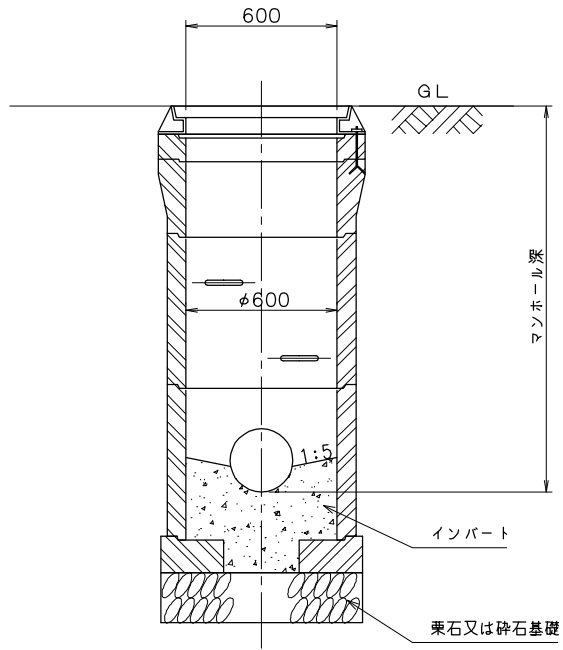
（単位：mm）

呼び径	d1 (最小)	e (最小)	l (最大)	z (最小)	t (最小)	A (最小)	B (最大)	R (参考)
250-300	268.1	57	205					

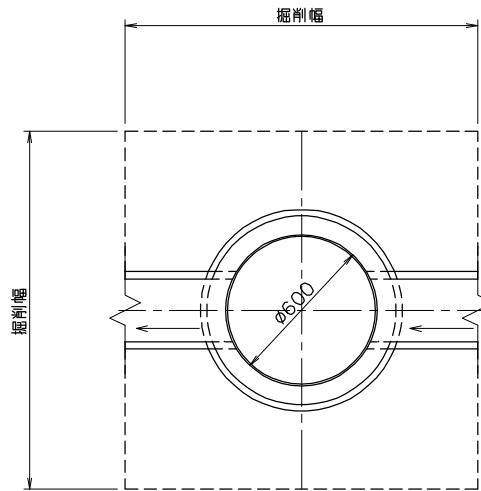
- 注1. ゴム輪の形状及びゴム周辺部の形状は、規定しない。
 2. 差し口外径Dとは、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の外径測定値の平均値、又は円周測定値を円周率3.142で除した値をいう。
 3. 受口内径d1は、直角2方向以上の内径測定値の平均値とする。

特殊組立マンホール参考図 (内径600mm円形)

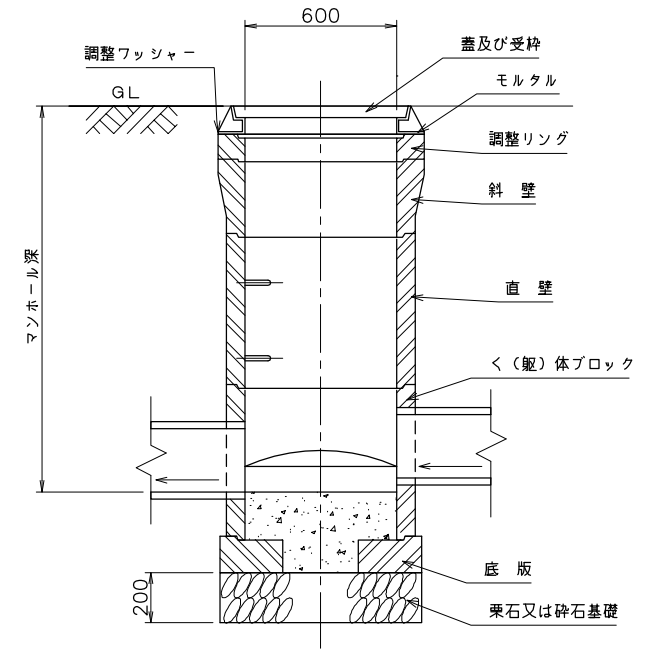
横断面図



平面図



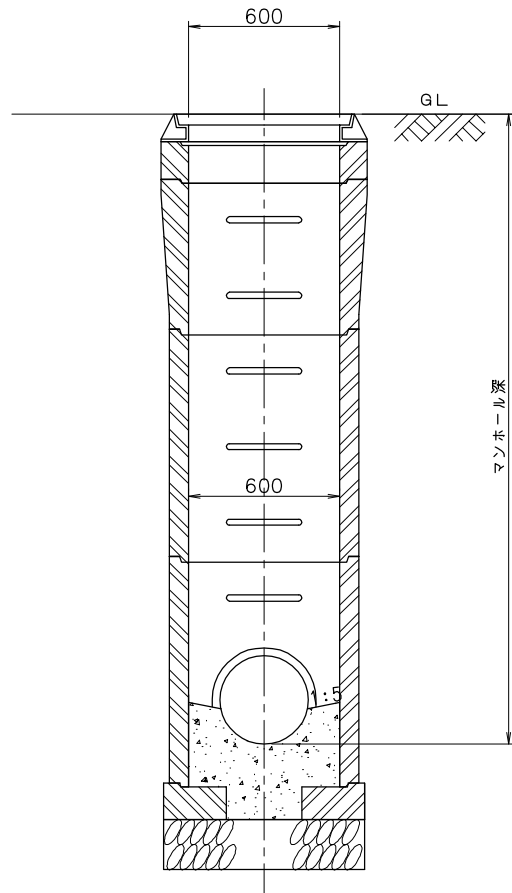
縦断面図



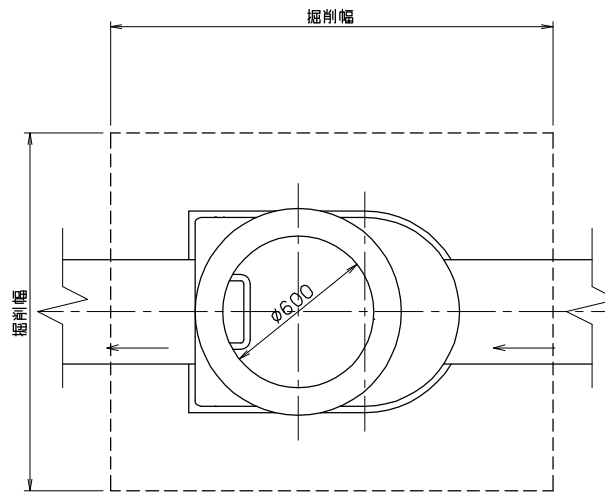
*インバート勾配は原則として下流勾配に合わすこと。

楕円組立マンホール参考図 (内寸法600×900mm方円形・小判形)

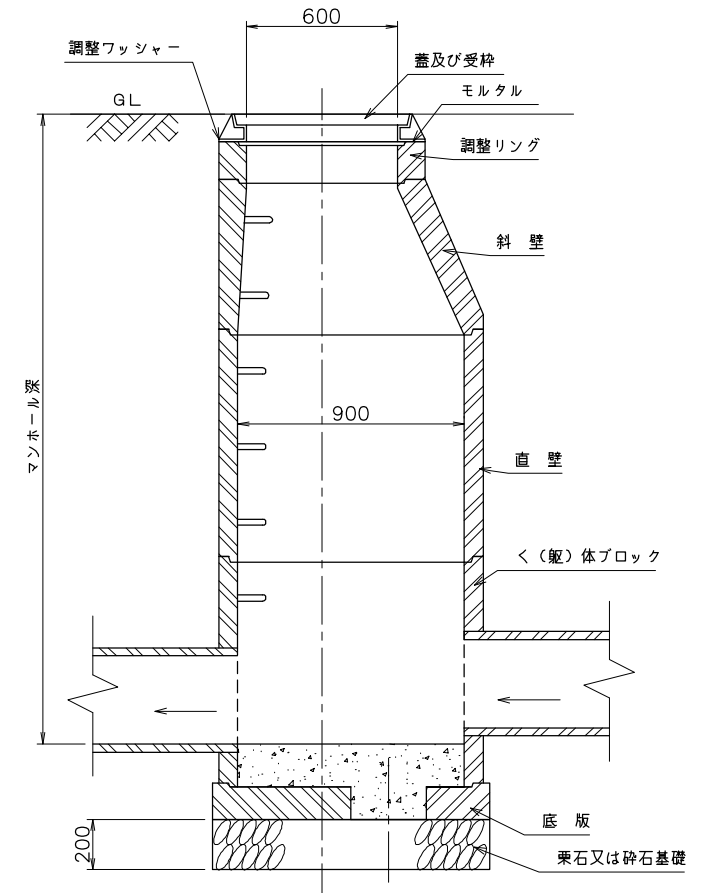
横断面図



平面図



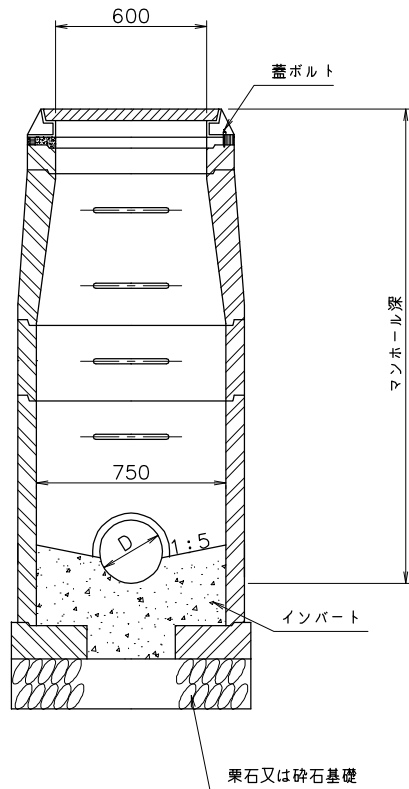
縦断面図



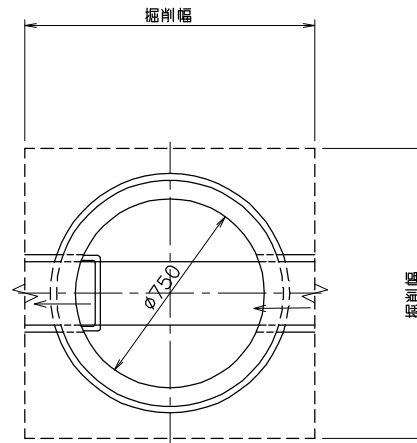
※インバート勾配は原則として下流勾配に合わせること。

0号組立マンホール 参考図 (内径750mm円形)

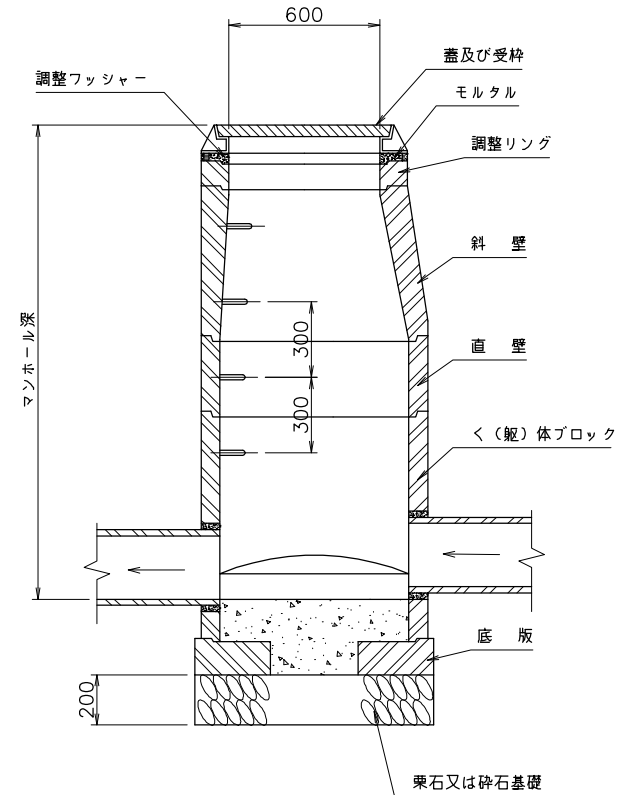
横断面図



平面図



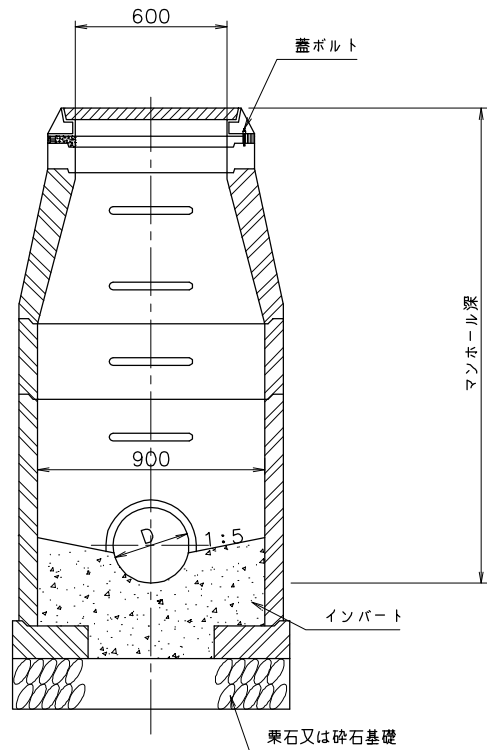
縦断面図



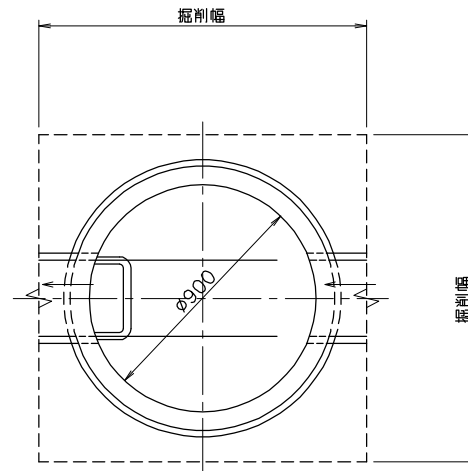
*インバート勾配は原則として下流勾配に合わせること。

1号組立マンホール 参考図 (内径900mm円形)

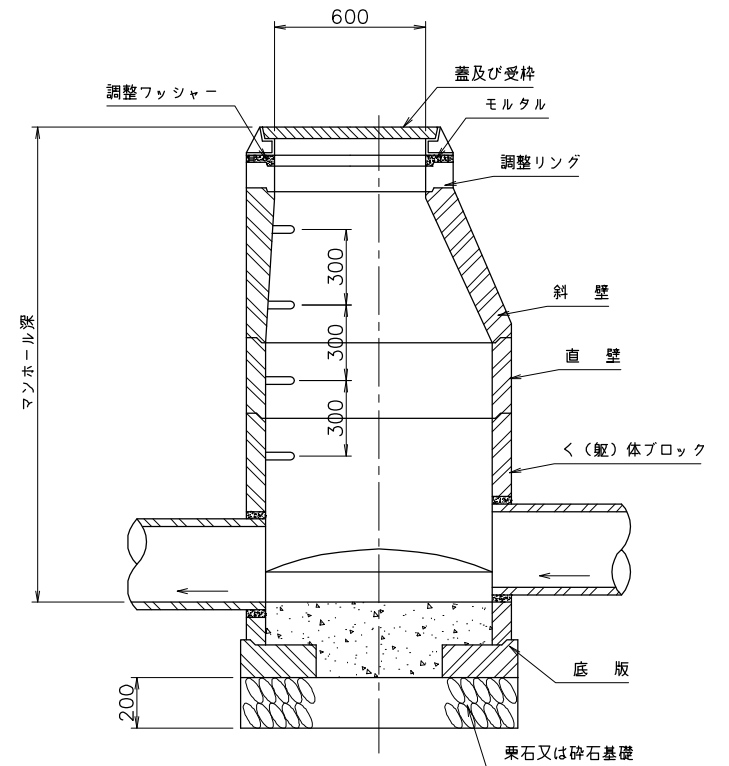
横断面図



平面図



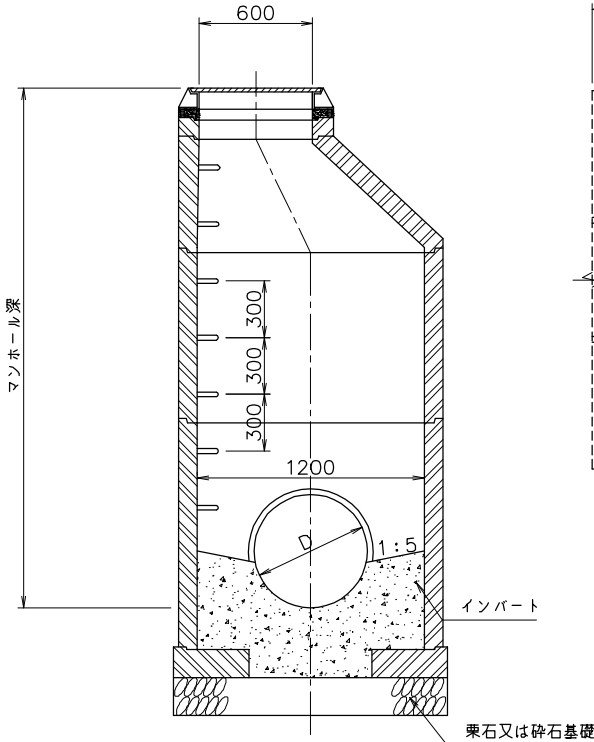
縦断面図



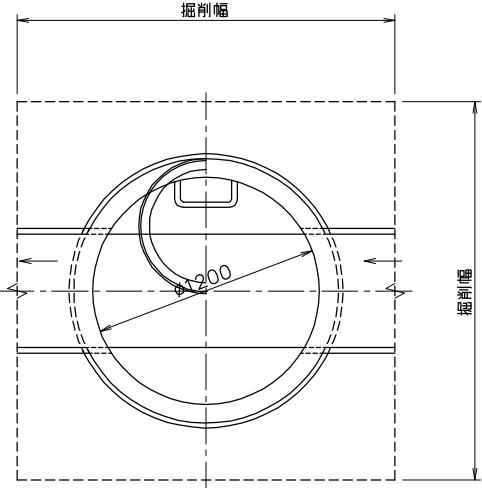
*インバート勾配は原則として下流勾配に合わせること。

2号組立マンホール 参考図 (内径1200mm円形)

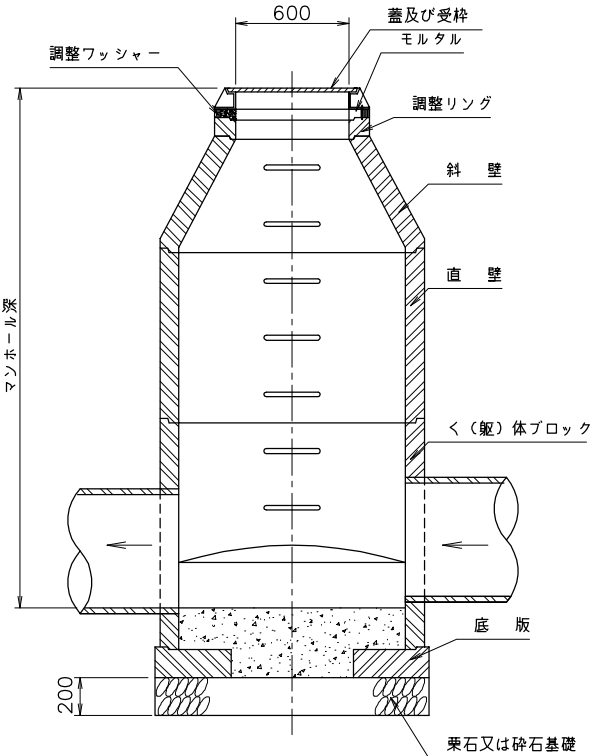
横断面図



平面図



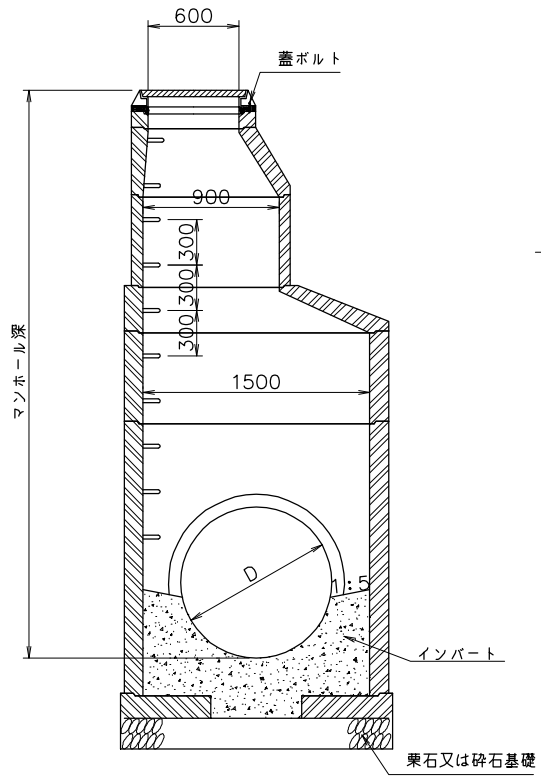
縦断面図



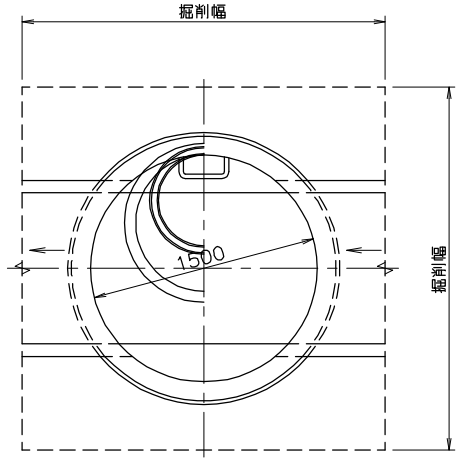
*インバート勾配は原則として下流勾配に合わせること。

3号組立マンホール 参考図 (内径1500mm円形)

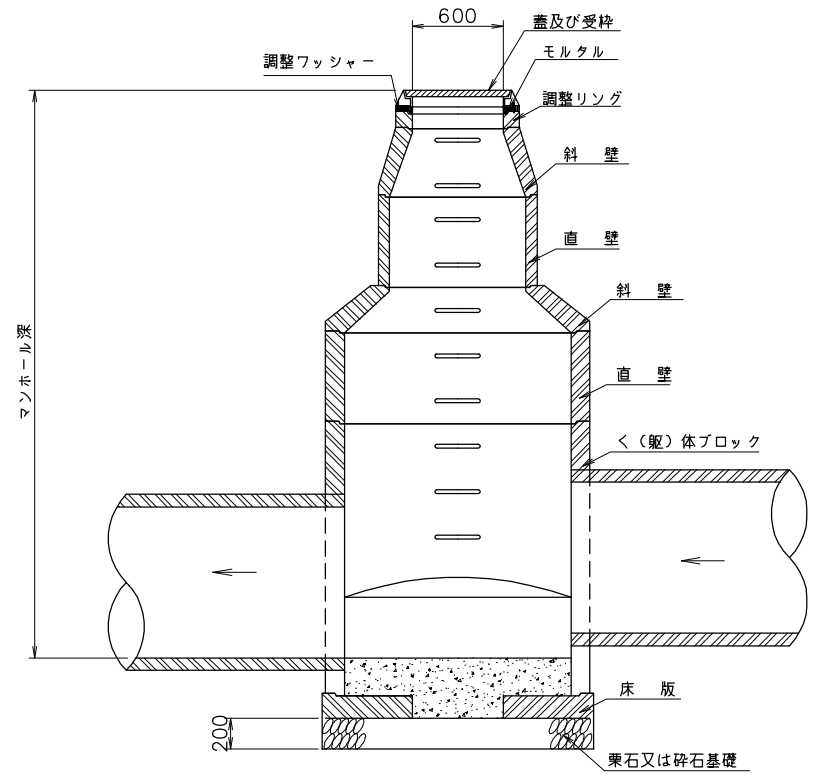
横断面図



平面図

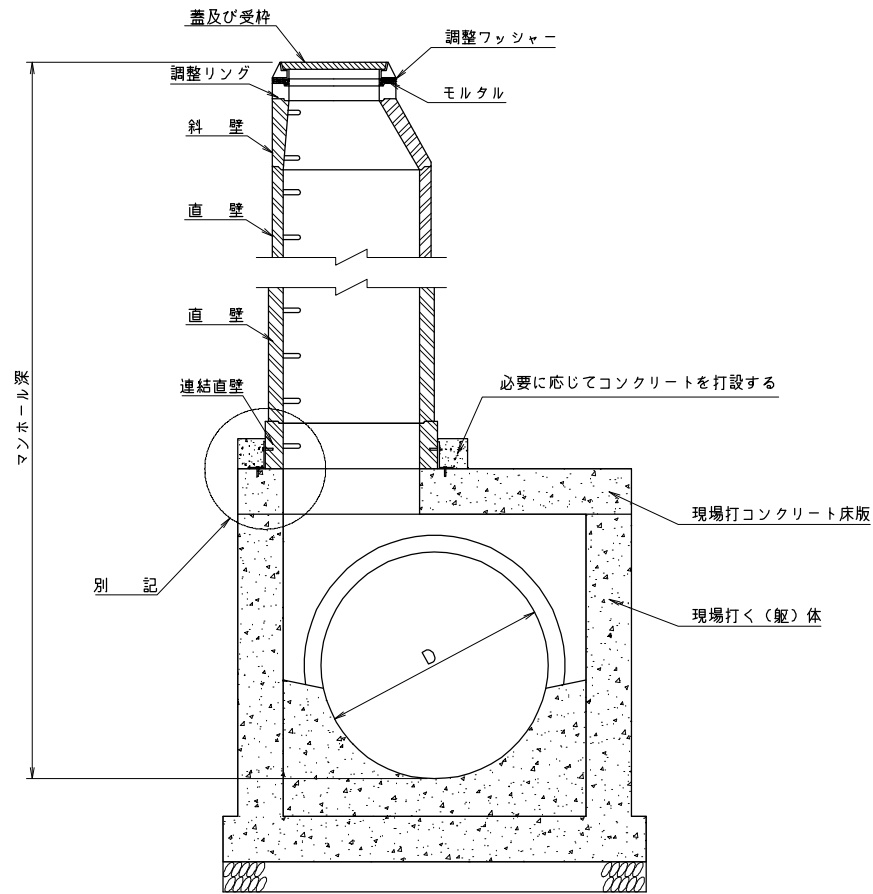


縦断面図

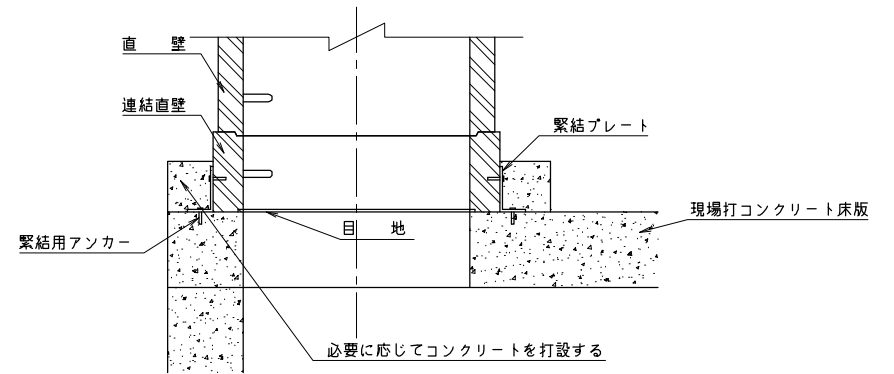


*インバート勾配は原則として下流勾配に合わせること。

現場打マンホール一般図



連結部詳細図 S=1:30



*マンホール深6.5mを超える場合は
中段スラブを考慮すること。